



がつ

園だより



甲南立正保育園

梅雨が明け、毎日朝からキラキラと太陽が照り付け、スプリンクラーで園庭に水を撒いてもあっという間に乾いてしまいます。アイスクリーム・スイカ・プール遊び・花火・・・と子どもたちが大好きな夏ですが、全国一、二を争うほど暑い甲府は、なかなか外遊びもできない状況です。なるべく朝の時間を利用し、戸外で活動できるように熱中症対策・コロナ対策をしながら過ごしていきたいと思います。身体が疲れやすい時です。十分な睡眠と食事に気を付けて元気に過ごしましょう。

行事予定



13日(金)～16日(月)

体操教室・・・



お盆希望保育(申込済)

18日(水) 26日(木)



19日(木)

発育測定(幼児)

体育遊び・・・

20日(金)

発育測定(乳児)

6日(金) ゆりぐみ



25日(水)

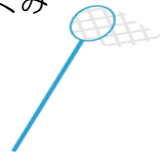
誕生会

20日(金) れんげ・さくらぐみ



27日(金) れんげ・さくらぐみ

*避難訓練も予定しています。



★ 保護者の方も、夏休みをとったり、家族で出かけたりと、夏ならではの計画もあると思います。お出かけの際には、感染症対策を行い、ケガ・病気等のないようにお過ごしください。また、できるだけ3密になるような場所は避け、感染症の流行している地域にお出かけの際には、登園開始日に余裕を持ち、お子様の体調・様子を見ながら登園していただきたいと思います。簡易的なキットで検査などをしてから登園していただくと、とても助かります。

★ お休み期間中に何かありましたら、保育園に連絡をください。

★ 今月から職員も夏休みをいただきます。職員のシフトの関係で合同保育になる日も多々ありますがご承知ください。

★ 8月25日より9月7日まで、山梨学院短期大学の学生が保育実習に入ります。

★ 先月より全国的にRSウイルス感染症が流行しております。自園でも乳児クラスで感染が広がり、1クラス出席人数が3人という日もありました。RSウイルスに限らず、プール熱や流行性結膜炎等も流行する時期でもあります。お子様の体調には十分ご留意していただき、早めの受診・静養をお願いいたします。また、感染症と診断された場合は、保育園に連絡をお願いいたします。重要事項にもあります通り、感染症とつく病気になった場合は、兄弟も感染の恐れがあるため家庭保育をお願いしております。(感染拡大を未然に防ぐため、ご協力をお願いいたします)

プール遊び

「キエーロ」

7月に埋めた生ごみ
土に戻ったかな？

プール遊び！だ～いすき!!
気持ちいい～

ホームページを随時更新!! みてねー!!

<重要> 保護者の皆様へご協力の要請

今週 8/2 (月)～8/6 (金) の間、職員の新型コロナウイルスワクチン接種 (2 回目) が予定されており、ワクチンの副反応 (熱や倦怠感等) の影響が懸念されるため、接種した職員の次の日を休日とさせていただきます。職員数の関係上、クラスを合同保育などで対応をいたしますが、可能な限り平日休みの保護者様の家庭保育、お子様の時短保育、早めのお迎え等々でご協力をいただくと大変助かります。何卒ご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。 園長 齋藤正善

園長のつぶやき

先日は、大勢の保護者の皆様に納涼会へご参加下さり、誠にありがとうございました。

また、保護者会役員の皆様、役員さん以外で屋台等の補助をして下さった保護者の皆様には、準備から当日のお手伝いまで行っていただき心より感謝しております。おかげをもちまして、子ども達も楽しく納涼会へ開催する事ができました(＃^^＃)

さて、いよいよ夏本番といった陽気になってまいりました！このコロナ禍で、夏休みといえどもどこへ出掛けるという予定もなかなか立ちません。先日どこかの病院の院長先生が書いた記事を読ませていただいたら、デルタ株が流行り始めた結果、20～30 代の感染者が過半数に迫り、子ども達への感染が以前より多く見られるようになってきているとのこと((+_+))そんな記事を見ていると、子ども間で流行してしまうことも決して遠い未来ではないのかな・・・なんて感じてしまいます。また、その記事の中には、仮に「保護者の方が感染し、子どもが感染しなかった場合、小児を長期間預かる体制がある自治体は少数しかない」とも書かれていました。簡単に言えば、仮に保護者 (両親等) が感染し入院した場合、濃厚接触者にあたっているが発症はしていない子どもを、保育園等に預けられないまま 2 週間他の方に見てもらえる体制を確立しておかなければならないという事です。祖父母や親戚が近隣にいる方でも、発症するリスクのある子どもを、保護者が退院するまでの 2 週間仕事を休んで面倒を見てもらうこととなります。皆さんはそれが可能ですか？そう考えると感染してしまった際のパターンをしっかりと考えておかなければ、最悪のパターンを招いてしまいますね。

コロナウイルスの第 5 波が迫っているという中で、その先生が 3 つのお願いとして「ハイリスクな行動を取らない」「家庭内で感染が起った際の生活を考えておく」「子どもの行き先を考えておく」ということを書かれておりました。

保育園でも 7 月末より、RS ウイルスなどが流行しておりますが「もしこれがコロナであったとしたら…」という最悪のパターンを考えると、園内の感染症の対策・対応をより一層考えていかなければならないのかと思います。「自分は大丈夫」「他の人の事はどっちでも良い」という自分勝手な「軽率」かつ「簡易」な考えが感染を広めてきた、今までの感染拡大の経緯だとも思います。コロナウイルスが毎日どこかで発生している今だからこそ、皆で感染症の恐ろしさを再度見つめなおす良い機会でしょう。

